

2026年1月14日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

術後再建腸管を有する膵・胆道疾患に対する
内視鏡的逆行性胆管膵管造影の治療成績に関する観察研究

研究の概要

【背景】

膵・胆道疾患により黄疸や炎症を来した場合、精査や治療のため内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）という内視鏡治療を行います。しかしながら、外科的手術で消化管の再建が行われた方ではカメラの操作性や使える道具の制限など、処置の各段階で障壁があり、再建腸管を有しない方へのERCPと比較し診療成績が劣ると言われています。

近年ではカメラや道具の進歩により、約20年前と比較して格段の治療成績（標的部位到達成功率・治療成功率）の向上が報告されていますが、依然として内視鏡処置で十分な成果が得られない方も多く、各施設間で治療戦略も多様で手技の標準化には至っていないのが現状で、手技手法の確立や道具の進歩など、更なる処置の発展が期待されています。

【目的】

本研究では、術後再建腸管を有する患者さんのうち、当院で膵・胆道疾患に対して内視鏡治療を行った方の背景、治療内容、結果を評価することで、より効果的な内視鏡治療の方法や手順、使用するデバイスなどの因子を特定します。特定した因子に応じた膵・胆道疾患に対する適切な内視鏡治療法を明らかにします。

【意義】

本研究を行うことで、術後再建腸管を有し膵・胆道疾患を罹患する患者さんのERCPにおける処置の有効性・安全性に関わる因子を特定し、安全な治療戦略の構築に寄与できることが期待されます。

【方法】

当院で内視鏡治療を試みた術後再建腸管を有し膵・胆道疾患に罹患する患者さんの治療成績（内視鏡治療の成否、治療内容、処置時間、合併症発生率など）を評価し、関連する因子を抽出し、より有効性の高い内視鏡治療法を検討します。

対象となる患者さん

術後再建腸管を有し、2010年6月1日～2024年7月31日の間に、長崎大学病院にて膵・胆道疾患に対して内視鏡治療を試みられた患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景：性別、年齢、自覚症状、Performance Status (PS)、基礎疾患、手術内容（術式、再建方法、吻合部距離）、手術日
- 臨床検査：白血球数（分画）、血小板、Hb、PT、APTT、FDP、D-dimer、Na、K、Cl、Ca、P、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、CRP、LDH、Amy、P-Amy、BUN、Cre、eGFR、TP、Alb、T-bil、D-bil、CRP
- 画像検査（CT（単純、造影）、MRCP、超音波内視鏡検査）：病変の局在、胆石の有無と性情、胆管径、傍乳頭憩室の有無、スコープ種別・位置・形状
- 治療内容：治療内容、治療施行日、使用スコープ、使用デバイス、胆管挿管の成否、総合的な処置の成否、併用治療の有無およびその詳細
- 有害事象：消化管穿孔・粘膜損傷・胆管損傷・膵炎・胆管炎・出血・誤嚥性肺炎・アナフィラキシー・その他医師が処置合併症と判断したものの有無と重症度

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 1 月 15 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027 年 12 月 31 日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 消化器内科
 氏名：北川 瑞希
 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
 電話：095 (819) 7481

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 消化器内科 北川 瑞希

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7481 FAX 095（819）7482

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）